



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■ 事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■ 例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■ 例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：山野辺倉平 幹事：阿部 弘行 発行：会報・広報委員会

第 2861 例会 (36号) 2013 年 4 月 11 日 (木) 曇り

米山奨学生卓話 SPEECH

「ミャンマーの現状と明るい未来」

米山記念奨学生 ソータイくん



今日は、日本とミャンマーの貿易、そしてミャンマーの現状についてお話しさせていただきたいと思います。

最近、ミャンマーはアジアのフロンティアと称され、世界中から注目されています。世界中の投資家や企業家などは、地価や労働力が安い新しい地域ができたと考え、投資の検討を始めているようです。このような状況で日本とミャンマーは、どのように貿易を行っているのかお話ししたいと思います。

2011 年から、日本とミャンマーの貿易は急激に増加しました。日本からミャンマーへの輸出は 92.9%、ミャンマーからの輸入も 92.5% と、大幅に増加しています。日本からミャンマーへの輸出を品目別に詳しく見ると、一番多いのは乗用車やトラックなどの運送機械です。次に建設機械が重要品目として輸出されています。ミャンマーから日本への輸出品目を見ると、一番多く輸出されているのは宝石、次いで靴、履物などです。その他、豆類や海老などの農水産物も日本へ輸出されています。最近ではミャンマーへの投資を考えている日本企業も沢山あると思います。これを一番に実行したのは、株式会社ハニーズです。今ミャンマーの市場調査などを行っている日本企業が沢山いると思いますが、実際に現地で生産しているのはハニーズのほか、一社くらいしかありません。

なぜ日本企業がまだ進出しないのかというと、深刻な電力不足とインフラ整備の不十分さなどが原因です。そして、軍事政権時代から長く続いた内戦や人権問題などの影響もあると思います。

ミャンマーでは 3 月下旬、中央部のメイティエラ近くのタイトウ市で仏教徒とイスラム教徒間で武力衝突が起きました。他の地域にも広がり、大勢の人々が犠牲になり、沢山の建物が壊されました。これは国内で大きな問題となっています。今私は、仏教徒とイスラム教徒の問題としましたが、実際には単なる宗教問題ではありません。ある組織が計画的に起こし、それを大きくするために火をつけています。その組織がどんな組織なのか、なぜこういう問題を起こすのか、それは今ミャンマー国民たちの大きな疑問です。

ミャンマーには、沢山銅が採掘できる山がありま

す。軍事政権時代から中国の企業が、その山で採掘をしています。その企業が採掘に使う化学物質や廃棄物などを近隣の村の傍に捨てています。その化学物質と廃棄物のせいで、村民が癌などの恐ろしい病気に罹っているそうです。さらに酷いことに、軍事政権が中国企業のため、村民の土地を極端に安い値段で強制的に買収しました。それで村民の生活は厳しくなりました。軍事政権時代に何も言えなかった人々は、今の政権に中国企業の銅採掘中止を要求し、反中国企業のデモを行いました。

テインセイン大統領はアウンサンスーチーさんをリーダーとした問題解決委員会を作り、問題解決を命じました。委員会は色々な調査を行い、3 月中旬に報告書を提出しました。政府は、アウンサンスーチーさんなら必ず解決できると思っていたのです。しかし村民は、報告書の内容に納得できず、いまだに銅採掘中止要求のデモが続いています。ちょうどこの頃、仏教徒とイスラム教徒の抗争が起きました。これは、国民が皆行っている反中国企業デモを弱体化させるため起こしたのではないかと考えられています。

この問題は未解決のまま、テインセイン政権や中国企業などに国民は皆反対しています。このような状況のため、テインセイン政権は国内で勝手なことをできないと軍事政権に戻るのではと不安が高まっています。私は、外国企業もこのように考えているかと心配しました。

現在私はミャンマーの政治に興味を持ち、沢山情報収集しています。テインセイン政権は軍事政権時代には絶対に戻らないと、私は思います。軍事政権に戻るつもりが少しでもあれば、テインセイン政権は誕生しないはずですが、ただ、軍事政権時代が種を蒔いた問題をテインセイン政権が解決できていないだけだと思います。今テインセイン政権は、民主化を目指して全力で取り組んでいると思います。テインセイン政権に全面的に賛成している訳でもありません。論理的に考えて、こうなるのではないかと考えているだけです。

先程会長挨拶で、アウンサンスーチーさんが来日すると仰いました。アウンサンスーチーさんは 13 日に到着し、渋谷で在日ミャンマー人と交流すると報道されています。私もそこに行こうと考えています。

2015 年にはミャンマーの総選挙が行われます。その時には必ずアウンサンスーチーさんが勝つはずですが、そうすればミャンマーはいい政権の下で一層民主化が進み、治安も良くなり、豊かな国になると思います。

今、数多くの国がミャンマー民主化を支援しています。その中で日本は、資金的にも技術的にも一番の支援国です。これから沢山の日本企業がミャンマーへ進出し、互いの関係がますます良くなると思います。



2012~2013年度
国際ロータリーのテーマ

「奉仕を通じて平和を」

Peace Through Service

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：阿部幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・四つのテスト（吉田仁平会員）〕



吉田仁平会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

○米山記念奨学生 ソータイくん

★結婚祝



松崎倫久さん
(4月24日)

★誕生祝



浜田成人さん
(4月16日)



伊藤盛敏さん
(4月19日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆会長挨拶ならびに報告



本格的な春の行楽シーズンを迎えています。先日友人と「つくばリンリンロード」に自転車での散歩「ポタリング」に出かけてきました。「つくばリンリンロード」は、つくば鉄道の廃線跡を利用した自転車と歩行者の専用道路で水戸線の岩間駅から常磐線の土浦駅までの約40キロのフラットな道路で、沿線には桜や花桃などが植えられ、駅の跡地には駐車場も完備されていてウォーキングでの花見客も多く来ておりました。

本格的なサイクリングの方は往復80キロのコースを楽しんでいます。私たちは周辺の街中を散歩しながらの約5時間のポタリングで、帰りの列車ではビールを片手に楽しい旅をしてきました。

今週末にはノーベル平和賞を受賞したミャンマーのアウンサンスーチー女史が27年ぶりに来日します。最近マスコミに財界が視察団を組み訪問をしたことや、ヤンゴンまでのダイレクト便ができるなどミャンマーに関する事が度々報道されますが、ミャンマーはこれからますます注目を受ける国になると思います。

平クラブでは現在ミャンマー出身の米山奨学生のソータイ君のお世話をしています。そして会員の江尻さんが最近ミャンマーに工場を稼働させるなど、平クラブとミャンマーとはいろいろと縁があるようです。本日はソータイくんにご2回目の卓話をして頂きますが、どんな話をして頂けるか楽しみにしております。

企業交代で水戸証券の薄井親一郎さんの推薦が承認されました。異議の申出は17日までに書面にてご提出をお願いいたします。

以上、16件

◆幹事報告

- 郡山RCより会報が届きました
- いわき福音協会より会報が届きました

委員会報告

◆出席委員会（志賀弘昌委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
4月11日	52名	31名	—

◆ロータリー情報委員会（奈良宏一副委員長）

改めて平RCのホームページのアドレスは下記のとおりとなりますので、今後ともご意見の程よろしくお願いいたします。

URL <http://iwakitaira-rc.jp/>

メール office@iwakitaira-rc.jp

◆スマイルボックス委員会（松崎浩委員長）

- ♥山野辺倉平さん（ソータイ君卓話宜しくお願い致します）
- ♥阿部弘行さん（ソータイ君卓話よろしく）
- ♥飯野光世さん（欠席つづき申し訳ありませんでした）
- ♥松村耕三さん（財団法人磐城済世会は新公益法人法の認定をうけ、4月1日から公益財団法人磐城済世会となりました）
- ♥森雄治さん（ソータイ君ハニーズ入社内定おめでとうございます。ミャンマーと日本の経済のかけ橋になって下さい）
- ♥小暮憲一さん（ソータイ君卓話ありがとうございます）
- ♥佐々木芳弘さん（ソータイ君卓話よろしく）
- ♥関口武司さん（ソータイ君、卓話宜しく申し上げます）
- ♥坂本佳友さん（ソータイ君卓話たのしみしております）
- ♥越智正典さん（ソータイ君卓話ごくろうさまです。たのしみをしています）
- ♥吉田仁平さん（ソータイ君がんばれ）
- ♥志賀弘昌さん（ソータイ君頑張ってください）
- ♥奈良宏一さん（4月8日に本ロータリークラブのホームページがスタートしました。掲載情報がありましたらお寄せ下さい）
- ♥浜田成人さん（誕生祝ありがとうございます）
- ♥伊藤盛敏さん（誕生祝ありがとうございます）
- ♥松崎倫久さん（誕生祝ありがとうございます）

以上、16件

4月は雑誌月間です

